

## シリーズ 「放課後子ども教室推進事業」

(初中教育ニュース(初等中等教育局メールマガジン掲載))

### 【第3回】

#### 「あそび学び」のできる七小放課後子ども教室

東京都東大和市立第七小学校長 伊藤 浩介

「ぼく、この木だったら一人であそこまでのぼれるよ。そして下りられるよ。」

一人の男の子が、いそいそと木登りを始めました。しかし、下りてくる枝分かれの部分に腰掛け、悩んでいます。(どうしようかな・・・)やがて、足場を選びながら自分で工夫して途中まで下り、最後はスタッフにかかえられて着地しました。毎日が、子どもたちの冒険と笑顔でいっぱいの子七小です。

本校の放課後子ども教室は「できるところまで子ども自身に体験させてみて、最後は大人がヒントを出す、安全管理は最優先で」の考え方に貫かれています。コーディネーター森吉正二氏(ボーイスカウト日本連盟)を中心に、自治会や地域、市内の方、PTAの協力スタッフ約60名が、安全管理員・学習アドバイザー・ボランティア指導員に分かれ、日々強力な支援をくださっています。

日によっては「茶道や和太鼓、琴」などの特別プログラムが教育相談室などで行われます。プレールームでの工作(クラフト)や昔遊び、視聴覚室での卓球、体育館でのバドミントンやボール遊び、学年を取り払い大人も全力で駆け回る「どろけい」、中庭で森吉氏お手製のハンモックに寝そべってのんびりする子、木にぶら下げたブランコでダイナミックに空中散歩を楽しむ子、児童会室などに一番に勉強をしに行く子など様々です。現在登録者数は250名強(366名の児童数)。日々60~70名の参加者を、6~7名のスタッフが見守ってくださいます。木内健司PTA会長が委員長を兼ねる、七小放課後子ども教室運営委員会も発足し、心強い支援をいただいています。

「よく夜眠るようになった気がします」「『放課後』で宿題を済ませて帰るので、時間の使い方がうまくなったようです」保護者の方からうれしい感想も届きます。しかし、もっとボランティアの延べ数を増やし、一部の方に負担が集中するのを防がなくてはとも思っています。今からでもぜひお仲間になってください。まずはどうぞ、子どもたちが夢中になって遊ぶ姿を見に来てください。

(初中教育ニュース(初等中等教育局メールマガジン)第93号に掲載)